

令和2年度4第回食の安心・安全意見交換会（報告）

令和2年12月
農政課



京都府の食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体等と以下のとおり意見交換を行いましたのでご報告します。

- 1 日時 令和2年12月22日（火）14:00～15:30
- 2 場所 オンライン会議システム Zoom（一部参加者は京都府庁農林水産部会議室から参加）
- 3 出席者 消費者団体11名、京都府職員5名
- 4 概要

（1）説明内容、主な質疑応答と意見

第4次京都府食育推進計画の策定及び京都府の水産物の安心・安全についての取組を説明し、参加者と意見交換を行った。

ア 第4次京都府食育推進計画の策定について（農政課）

意 学校給食の地元農林水産物の供給品目数の割合が未達成なことは残念。多品目の数量を確保するのが難しいのであれば、調達のシステムを見直して、地場産の食材を優先的に使っていくシステムを構築してはどうか。

イ 京都府の水産物の安心・安全について（水産課）

問 今年は新型コロナウイルス感染症の影響で外食産業が落ち込んだこともあり、養殖業者の方々は大変困っていると思う。何か支援策は行われているのか。

答 京都府では、先ほど夏の食材としてご紹介した「丹後とり貝」が、ちょうど出荷シーズンと緊急事態宣言の時期が重なってしまったこともあり、出荷量が例年よりも大幅に減少してしまった。京都府では、困っているとり貝生産者から買い上げ、主にとり貝が生産されている北部地域の小中学校の給食で提供するという取組を実施したところ。

（2）アンケート結果

ア アンケート集計（本日の意見交換会はいかがでしたか。）

5点満点で3.6点

イ 参加者の意見、感想

- ・コロナ禍の中で食育をどう推進していくのかは、携わっている者にとっては共通の課題だと思う。推進計画はその意味でも一定の方向が分かる。
- ・やはり、食育は、給食と地産地消が、関心が高かった。仕組みづくりをしっかりと、成果を出すことを期待する。
- ・京都府の水産物の安心安全に関する取組は、初めてお聴きする取組でとても参考になった。養殖生産者の方と丁寧なやりとりをされていることが分かり良かった。丹後とり貝は以前から興味を持っているがまだ食べたことが無いので機会あれば食べたいと思った。